

プレスリリース（1月15日発表）

ラングテック、先進的な日常語日英翻訳サービスを多様化し、低価格化を実現  
-多くのユーザの意見を集約し、翻訳能力と使い易さのいっそうの向上を目指す-

新潟大学発ベンチャーである株式会社ラングテック（本社：東京都世田谷区、代表取締役社長：宮崎正弘）は、昨年Laurel-II日常語日英翻訳サービス（愛称：話せるよーん・書けるよーん！）を開始したが、このたび、大学発ベンチャーのもつ高い技術を基にした先進的な日常語日英翻訳のネットサービスを幅広く社会に提供することを目指して、本サービスを多様化し、低価格化を実現した。具体的には、従来のパソコン、タブレット端末、スマートホンのどれでも利用できるパソコン・タブレット・スマホ版の他に、パソコン・タブレット端末のみ利用できるパソコン・タブレット版、およびスマートホンのみ利用できるスマホ版を新設し、ユーザが利用申し込み時にどの版を利用するかを選択できるようにするとともに、それぞれの版の利用料金を定めた。利用料金の設定にあたっては、個人ユーザ、教育機関や法人としての利用に先立って個人として利用するユーザがポケットマネーで手軽に利用できるようにきわめて安い利用料金（利用形態によって異なるが、年額1000円～3000円）とした。学校・塾など教育機関がタブレット端末を学生・生徒に配布して学習させるという学習環境のデジタル化に対応して利用料金を安くするとともに多くのIDをまとめて契約した場合の割引率を増やした。海外との取引にかかわるビジネスマンの英文ビジネスEメール作成や英文作成を支援したり、外国人に接する機会が多いサービス業従事者の英会話を支援したりする場合などに本サービスを手軽に利用してもらえるように法人の利用料金を安くするとともに多くのIDをまとめて契約した場合の割引率を増やした。これにより、ユーザが望む手段で、英語での情報発信や英作文・英会話学習支援サービスを、いつでも、どこでも、手軽に、より安く利用できるようになった。また今後、本サービスを多くの人に実際に使ってもらい、ユーザから生の意見をいただき、それらを集約して、本サービスを漸進的によりよいものにしていく、いわばユーザ参加型の、小回りのきく大学発ベンチャーならではの手法で、本翻訳サービスの翻訳能力と使い易さのいっそうの向上をはかっていくことにしている。

政治・経済・社会・科学技術・文化など様々な活動における国際化の進展、2020年の東京でのオリンピック開催、小学校における本格的な英語教育の開始の決定、国を挙げて英語教育に力を入れていくとするこの時期にタイムリーに世に出された本翻訳サービスは、翻訳ソフトを利用した先進的英語教育を可能とし、日常会話やEメール・ブログなどネットを介した日常英語での情報発信の手軽なツールとなることが期待される。また、ゲームソフト、マンガ、アニメ、映画などクール・ジャパンとして海外で評価されている日本語コンテンツの英語化に有効なツールとなり、日本語コンテンツの海外展開にはずみがつくものと期待される。

本サービスは、小・中学校、高校、高専・短大・大学、塾・予備校などの英語の授業での英語学習支援ツールとしての利用だけでなく、英語を学んでいる生徒・学生、英語を基礎から学び直したり、英会話を学習しようとしたりする一般社会人のような個人にも手軽で安価な英作文・英会話学習支援ツールとしての利用が期待される。その他、個人向けには英文パーソナルEメール・ブログ作成支援、英作文・英会話の支援、教育機関向けには英文パーソナルEメール・ブログ作成支援、法人向けには英文ビジネスEメール・ブログ作成支援、英文作成・英会話の支援などのツールとしても役立つ。

本サービスには、個人や翻訳家などの個人向けサービス（Laurel Personal Service）、学校・学習塾などの教育機関向けサービス（Laurel Academic Service）、企業・官公庁・団体などの法人向けサービス（Laurel Business Service）の3種のサービス形態がある。利用料金は、多くの個人、教育機関、法人に手軽に使ってもらえるように、下記のように安く設定した。

- ・個人向けサービス：1 IDのみの契約で、1年分一括払い。年額利用料金（税別）は、スマホ版1000円、パソコン・タブレット版2000円、パソコン・タブレット・スマホ版3000円。
- ・教育機関向けサービス：2 ID以上の契約で、原則として1年分一括払いであるが、年額利用料金を分割して半期、四半期、月ごとに支払うことも可能。1 ID当たりの年額利用料金（税別）は、スマホ版

1200円、パソコン・タブレット版2400円、パソコン・タブレット・スマホ版3600円。

- ・法人向けサービス：2 ID以上の契約で、原則として1年分一括払いであるが、年額利用料金を分割して半期、四半期、月ごとに支払うことも可能。1 ID当たりの年額利用料金（税別）は、スマホ版2400円、パソコン・タブレット版4800円、パソコン・タブレット・スマホ版7200円。

多数のIDをまとめて契約する教育機関／法人ユーザには割引の特典がある。なお、教育機関／法人ユーザとしての利用に先立ち、個人ユーザとして利用することもでき、学部・学科・研究室や局・部・課などの単位でも契約できる。本サービスの試用希望者は、無料で30日間、本サービスを試用できる。詳細はラングテックの公開WEB (<http://www.languetech.co.jp/>) を参照されたい。

Laurel-IIは、長期的には文脈を考慮した高度な翻訳処理を導入して、小説など文学作品の高品質な日英翻訳を実現するという高い目標を掲げて研究開発を進めている途上にあるものである。今後、翻訳機能の充実、辞書、変換パターン、日本語書き換えパターン、用例などの言語データの充実などを継続的に進めるとともに、本サービスを多くの人に実際に使ってもらい、ユーザの意見を集約して、翻訳能力のいっそうの向上、ユーザインタフェースの改良、より使いやすい機能の導入に努めていく予定である。また、教育機関などと協力して英作文・英会話の学習・教育に有効で使い勝手のよいツールとするためのユーザインタフェース、学習支援機能の改良などにも取り組んでいく予定である。

株式会社ラングテック

代表取締役社長 宮崎正弘

〒157-0073東京都世田谷区砧3-19-5

本件に関する問い合わせ先（Eメール）：info@languetech.co.jp

---

以上がプレスリリースの内容です。以下は、プレスリリースに記述されていない参考情報です。

注1) Laurel-II日常語日英翻訳サービス（愛称：話せるよーん・書けるよーん!）は、インターネットにアクセスできるパソコン・タブレット端末、スマートホンで利用でき、日常日本語で書かれた記述文（書き言葉）、会話文（話し言葉）、およびEメール（パーソナルEメール、ビジネスEメール）・ブログ文の日英翻訳を提供している。ラングテックの創業者である新潟大学名誉教授・宮崎正弘が30年あまり取り組んできた自然言語処理の研究成果を基にラングテックが開発した、日常生活において、話したり、書いたりする身近な日常日本語を、中学レベルの平易でわかりやすい日常英語に翻訳する日常語日英翻訳ソフトLaurel-IIをネットサービス化したものである。

注2) 日常語日英翻訳ソフトLaurel-IIは、規則・用例融合型のハイブリッド翻訳方式を採用しており、会話文は定型的表現だけでなく、非定型的表現にも対応している。特定の専門分野には依存しない日常日本語が翻訳対象であるため、技術文や新聞記事文などにみられるような長文には対応していない。しかし、日本語的発想によるこなれた日本語に対応するため、日英間の発想の差を吸収する日本語書き換え機構を導入し、慣用句・ことわざ・コロケーション（語と語の習慣的結び付き）の翻訳、固有名詞を含む同形語・多義語の判別や訳し分け、名詞句・複合名詞の翻訳などの機能を充実させている。また、既存の翻訳ソフトでは無視されるか十分には対応できていない、日本語において省略されることが多い主語などの補完、助詞「は」「が」の差異を考慮した翻訳、冠詞付与、名詞の数の決定、適切な前置詞の選択などの機能も充実させている。それにより、日常日本語を中学レベルの平易でわかりやすい日常英語に翻訳する、他に類を見ない先進的な翻訳ソフトを実現している。さらに、なぜそのような訳文が出力されたかをユーザに示す翻訳過程可視化、日本語入力文と訳文の対を利用者データベースに保存するMyDBなどユーザに便利な機能を備えている。中学・高校で学ぶ英文法事項を網羅した日英対訳例文集である日本語表現分類体系も備えており、翻訳過程可視化機能と併せて、英語学習・教育に有効利用できるものとなっている。